



Sapporo Gakuin University 学園広報

記念号 2008.6.15 No.100
編集・発行 札幌学院大学 広報課
〒069-8555 北海道江別市文京台11番地
電話 (011)386-8111
http://www.sgu.ac.jp

札幌学院大学は 大学開学40周年を迎えました



平成20年度入学式にて

札幌学院大学開学40周年に寄せて

学長 布施 晶子

備された「学生便覧」の冒頭を飾る文章は、当時の教職員の一熱き思いを語って余りある。商学部商学科二〇〇名の学生定員で始まった大学は、一九七七年の人文学部設置を経て、一九八四年の法学部設置時に札幌学院大学と校名を変更し、一九九一年には社会情報学部設置と同時に商学部経済学を法学部へと改組・転換、その後大学院法政研究科、九四六年当時から、大学への昇格は悲願であった。それから幾星霜、教職員・学生が一九九一年の努力が札幌学院大学(江別市文京台)の開学に結晶されたのは一九六八年のことであった。「無名のわれわれが、無名の地に、無名の大学を始めることを」札幌学院大学第一期生のために準備された「明和体制」として

平成二十年入学式が四月三日、北海道厚生年金会館で行われ、大学院三研究科、五学部八学科で一、〇七〇名の学生が入学しました。新入生を代表して松田理彩さん(法学部法律学科)は「人と人とのコミュニケーションを大切に、今日の自分より明日の自分を見つめ、大空に羽ばたきたい」と抱負を述べました。布施学長は「人生で大切なことは人間としての『根っこ』を持つことであり、これからの四年間で心から信頼できる友人、教員を見つけ、しっかりと水分と栄養分を吸い上げて個性豊かな樹木に育って

2009年4月 経営学部が誕生します

- 経営学科
- 会計ファイナンス学科

の歴史を刻んで参りました。本学は商学部の今日までの実績と伝統を引き継ぎ、北海道地域社会とその経済の新たな発展の要請に応えるべく、二〇〇九年度より商学部を改組転換し「経営学科」と「会計ファイナンス学科」の二学科からなる「経営学部」に再編することとしました。

「経営学部」の再編は、新たな「経営学科」の教育研究の目的は、グローバル化し混迷する社会の中で企業、NPO、地方自治体等の諸組織の力で地域を再創造し、自立させ、その持続可能な発展を促すためのより高度なマネジメント能力を備えた人材の育成にあります。札幌学院大学の更なる飛躍と、時代と地域社会の要請に応えるための新・経営学部の教育研究活動に、これまで同様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

商学部は、札幌学院大学の前身となる札幌短期大学の商業科からの流れを受け継ぎ、一九六八年札幌商科大学開学と同時に設置されました。道内をはじめとする全国で活躍する経済人、職業会計人、商業科教員等を多数輩出し、北海道における商学の教育研究に多くの蓄積を残しつつ四十年間

の歴史を刻んで参りました。本学は商学部の今日までの実績と伝統を引き継ぎ、北海道地域社会とその経済の新たな発展の要請に応えるべく、二〇〇九年度より商学部を改組転換し「経営学科」と「会計ファイナンス学科」の二学科からなる「経営学部」に再編することとしました。

平成二十年入学式が四月三日、北海道厚生年金会館で行われ、大学院三研究科、五学部八学科で一、〇七〇名の学生が入学しました。新入生を代表して松田理彩さん(法学部法律学科)は「人と人とのコミュニケーションを大切に、今日の自分より明日の自分を見つめ、大空に羽ばたきたい」と抱負を述べました。布施学長は「人生で大切なことは人間としての『根っこ』を持つことであり、これからの四年間で心から信頼できる友人、教員を見つけ、しっかりと水分と栄養分を吸い上げて個性豊かな樹木に育って

平成20年度入学式 大学院3研究科 5学部 7学科 1,070名が入学

下さい」と祝福の挨拶を述べました。在学を代表して舟橋航さん(人文学部学生自治会執行委員長)が「札幌学院大学と自身に誇りを持ち、自己実現のための第一歩を踏み出しましょう」と新入生を歓迎するメッセージを贈りました。入学式後、スベシャル・ゲストと紹介された元日本ハムファイターズ投手、現野球解説者の岩本勉氏は、「大学四年間、全力で打ち込める目標を持ち、よき友と出会い、濃厚な時間を過ごしてほしい。胸をはってよかったと思える大学生活を過ごしてほしい」とエールを送りました。

今年で二十九年目を迎える新入生合宿オリエンテーションが、四月八日(九日)に定山溪温泉の二ホテルで実施されました。各学部企業がスケッチしてその様子を紹介しました。《商学部》履修登録を進めるため、情報ポータル操作を情報処理課の協力で二時間間隔で習得しました。定山溪に移動後はクラス毎の交流を行いました。《経済学部》「学生生活入門―食と環境―を考える」と題して、江別市の環境対策部廃棄物対策課、大学生協連合会から管理栄養士を招き、講話とクラス対抗の交流を行いました。《法学部》大学内で履修と学生生活について確認。その後、会場を総合体育館に移して恒例の「クラス対抗綱引き」でクラスの交流を図りました。定山溪では学部企画やフリーセッションなどが行われました。

四月を新入生の笑顔が溢れるキャンパスにするために、さらに努力・改善を重ね、本学ならではの伝統行事として継承していきたいものを「有意義である」と回答。その理由のトップは「友人を得たこと」。「不安が軽減された」、「履修方法・学習の仕方について理解できた」が続きます。先輩学生の学生実行委員への感謝も多くみられました。

大学基準に適合の認定



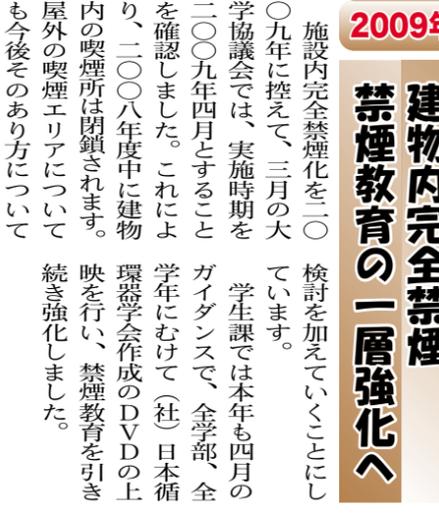
札幌学院大学は二〇〇七年度に財団法人大学基準協会による認証評価を受け、「本協会の大学基準に適合している」との認定を受けました。認定の期間は二〇〇八年四月一日から二〇一〇年三月三十一日までです。評価結果の「総評」では、本学の理念・目的・教育目標の達成への全学的な姿勢について「北海道という立地条件を重視し、地域に開かれた大学という使命を果たすために全学的な取り組みをしていくことは評価できる」と評価しています。

五月九日、大学開学四十年記念と銘打ち、第三十二回学術講演会「講演と音楽の夕べ」が道新ホールで開催されました。講演の講師は、北海道開拓記念館長で北海道大学・放送大学名誉教授の丹保憲仁氏。二十一世紀の日本と

大学開学40周年記念 第32回学術講演会開催

北海道」と題し「世界の人口が増え続ける現代環境の制約を見据えながら速やかに価値観の転換を図ることで、持続可能な地域環境に立ち返ろう」と呼びかけました。音楽は、二十世紀のオペラ界を担う、今注目目のメゾ・ソプラノ、林美智子さん、幅広く活躍中のピアノ・石野真穂さんが贈る「歌の喜び」。心に染み入る豊かで力強い歌声が会場をひとつにし、素晴らしい音楽のひとつとなりました。

2009年 建物内完全禁煙 禁煙教育の一層強化へ
施設内完全禁煙化を二〇〇九年に控えて、三月の大学協議会では、実施時期を二〇〇九年四月とすることを確認しました。これにより、二〇〇八年度中に建物内の喫煙所は閉鎖されます。屋外の喫煙エリアについても今後そのあり方について検討を加えていくこととしています。学生課では本年も四月のガイダンスで、全学部、全学年にむけて(社)日本循環器学会作成のDVDの上映を行い、禁煙教育を引き続き強化しました。



新理事会が発足

理事長に 藤田恒郎氏



理事長 藤田恒郎氏

藤田新理事長は、昭和九年山口県出身。昭和三十二年東京大学法学部を卒業。同年大蔵省入省、国際金融局長、海外経済協力基金総務部長を経て、昭和五十九年官房審議官(証券局担当)、同六十二年日銀政策委員、同六十二年大蔵省証券局長を歴任。同六十年六月退官し、海外経済協力基金理事を経て、平成二年北海道銀行副頭取、同四年頭取に就任。同十五年退任し、現在は北海道銀行特別参与、同十六年五月から社団法人札幌観光協会会長として現在に至っています。

五月二十七日開催の第一七八回理事会、第一〇四回評議員会で任期満了による役員及び評議員の改選が行われました。
また、第一七九回理事会において、任期満了の伊坂重孝理事長の後任として藤田恒郎氏が理事長に、杉本修教授と久保田義弘教授が常務理事に選任されました。

◎理事長 藤田 恒郎 (札幌観光協会会長)

◎常務理事 杉本 修 (商学部教授) 久保田義弘 (経済学部教授)

◎監事 五ノ井 學 (五ノ井学税理士)

今期の改選で、伊坂重孝理事長、横山末雄理事、小谷津孝明理事、酒井恵真常務理事、杉山吉弘常務理事、川合増太郎理事、荒憲一理事が退任されました。
また、教職員を除く評議員では、鎌田力氏、東原俊郎氏、谷口昌弘氏、岡英雄氏が退任され、新たに、小野圭二氏、山根良隆氏、石神敏氏、佐藤ゆみ子氏が選任されました。
永年、本学園の発展のためにご尽力いただきました理事、評議員の皆様へ深く感謝申し上げます。

五月二十七日開催の第一七八回理事会、第一〇四回評議員会で任期満了による役員及び評議員の改選が行われました。
また、第一七九回理事会において、任期満了の伊坂重孝理事長の後任として藤田恒郎氏が理事長に、杉本修教授と久保田義弘教授が常務理事に選任されました。

◎理事長 藤田 恒郎 (札幌観光協会会長)

◎常務理事 杉本 修 (商学部教授) 久保田義弘 (経済学部教授)

◎監事 五ノ井 學 (五ノ井学税理士)

今期の改選で、伊坂重孝理事長、横山末雄理事、小谷津孝明理事、酒井恵真常務理事、杉山吉弘常務理事、川合増太郎理事、荒憲一理事が退任されました。
また、教職員を除く評議員では、鎌田力氏、東原俊郎氏、谷口昌弘氏、岡英雄氏が退任され、新たに、小野圭二氏、山根良隆氏、石神敏氏、佐藤ゆみ子氏が選任されました。
永年、本学園の発展のためにご尽力いただきました理事、評議員の皆様へ深く感謝申し上げます。

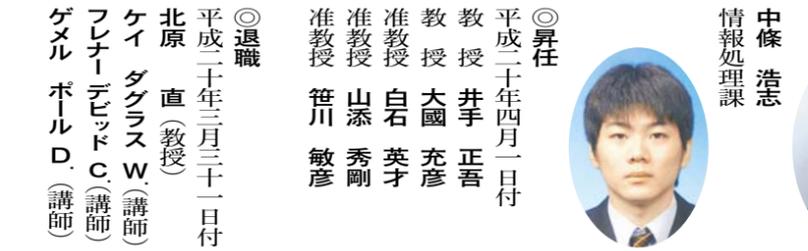
教職員人事

◎任命
平成二十年四月一日付
副学長 西尾 敬義 新任
大学院臨床心理学研究科長 滝沢 広忠 新任
大学院地域社会マネジメント研究科長 太田 清澄 新任
商学部長 光武 幸 新任
法学部長 伊藤 雅康 新任
社会情報学部長 皆川 雅章 再任
総合教育センター長 石川 千温 新任
学生部長 小内 純子 新任
就職部長 金山 剛 新任
総合研究所長 松本伊智朗 新任

◎採用
平成二十年四月一日付
教授 コミュニケーションと子ども発達 渡邊 知樹
教授 寺沢英理子 発達心理臨床
教授 清水 雅彦 憲法

◎昇任
平成二十年四月一日付
教授 井手 正吾
教授 大國 充彦
准教授 白石 英才
准教授 山添 秀剛
准教授 菅川 敏彦

◎退職
平成二十年三月三十一日付
北原 直 (教授)
ケイ ダグラス W. (講師)
フレネーデビッド C. (講師)
ゲメル ボール D. (講師)



◎基金のご協力に感謝申し上げます
教育振興寄付金(芳名)
(平成二十年一月七日から三月三十一日までの報告)
敬称略・順不同
高橋 亨 馬場 博美
菊地 隆之 松本 幸子
島田 尚規 橋本 孝司
吉田 崇 富井 清美
菅川 敏彦 渡部 文夫
武田 悟 光武 幸
高久 淳 井向 忠久
大河原 研二 久保 賢治
嵯峨 義輝 渡辺 栄二
荒 憲一 長田 久
大坂 弘 藤田 直
山田 圭二 佐藤 達哉
畑山 紀 中鉢 哲也
京谷 正博 杉本 修
佐藤 徳子 株式会社 セノン

お詫びと訂正

第九十九号第一面「教員採用登録者の記事において、本学出身者は、中学校英語二名は、中学校英語一名の誤りでした。ここに訂正し、深くお詫び申し上げます。」
広報課

2007年度決算並びに2008年度予算

2008年5月27日に開催された第178回理事会において、学校法人札幌学院大学の2007(平成19)年度決算並びに2008(平成20)年度補正予算が承認されました。その概要を報告します。

2007年度決算の概要

帰属収入(学校法人の負債とならない収入)は50億9,824万円で、予算と比べ補助金収入、資産運用収入、資産売却差額等で増加し1,244万円の増収となりました。学生生徒等納付金は、入学者数が見込みより少なかったことにより43億5,430万円(帰属収入の85.4%)と予算を2,880万円下回りました。寄付金は在学生保護者の方に加え卒業生及び教職員に対しても広く案内したことにより、昨年度に比べ寄付者数は6倍、募金額は1.5倍に増えました。補助金は予算を597万円上回りました。特別補助、私大研究設備補助等の増加があったことによります。資産運用収入は2億251万円、資産売却差額は3,140万円、基本金組入額は4億2,847万円でした。その結果、消費収入は予算に比べ5,483万円減少の46億6,977万円となりました。

人件費は非常勤講師料、超勤手当、パート料、退職給与引当金繰入額等の減少があり予算に比べ7,833万円減少しました。教育研究経費は予算に比べ3,527万円の減少、管理経費も565万円の減少でした。清掃・駐車場管理等の委託料、水道光熱費等の節減により経費全体で約4,000万円減少しました。その結果、消費支出の合計は予算に比べ1億4,549万円少ない45億6,221万円となり、2007年度消費収入超過額は1億756万円となりました。資産総額も前年度に比べ4億2,293万円増加しました。

2008年度予算の概要

帰属収入は前年度予算より7,340万円減の50億1,240万円を計上しました。基本金組入額3億3,400万円(新校舎建設資金2億6,000万円を含む)を差し引いた消費収入の合計は前年度に比べ4,620万円減の46億7,840万円となります。消費支出は48億1,110万円を計上しました。その結果、当年度の消費支出超過額は1億3,270万円、翌年度繰越消費収入超過額は13億7,714万円となります。

消費収支計算書

(単位: 千円)				
	2007年度予算	2007年度決算	差異	2008年度予算
学生生徒等納付金	4,383,100	4,354,300	28,800	4,124,400
手数料	67,000	57,823	9,177	64,000
寄付金	11,500	11,142	358	9,800
補助金	364,300	370,270	△ 5,970	342,100
(内経常費補助金)	(351,200)	(357,764)	(△ 6,564)	(336,500)
資産運用収入	179,200	202,514	△ 23,314	210,700
資産売却差額	10,000	31,396	△ 21,396	24,700
事業収入	100	787	△ 687	500
雑収入	70,600	70,006	594	236,200
帰属収入合計	5,085,800	5,098,238	△ 12,438	5,012,400
基本金組入額合計	△ 361,200	△ 428,465	67,265	△ 334,000
消費収入の部合計(ア)	4,724,600	4,669,773	54,827	4,678,400
人件費	2,804,700	2,726,369	78,331	2,938,200
(内退職給与引当金繰入額)	(71,700)	(35,236)	(36,464)	(166,300)
教育研究経費	1,497,100	1,461,835	35,265	1,461,600
(内減価償却額)	(426,700)	(427,520)	(△ 820)	(419,300)
管理経費	373,400	367,755	5,645	386,100
(内減価償却額)	(57,800)	(58,567)	(△ 767)	(58,800)
資産処分差額	7,500	6,252	1,248	10,000
予備費	25,000	0	25,000	15,200
消費支出の部合計(イ)	4,707,700	4,562,211	145,489	4,811,100
当年度消費収入超過額(ア-イ)	16,900	107,562		
当年度消費支出超過額(イ-ア)				132,700
翌年度繰越消費収入超過額	1,419,174	1,509,836		1,377,136

資金収支計算書

(単位: 千円)				
	2007年度予算	2007年度決算	差異	2008年度予算
学生生徒等納付金収入	4,383,100	4,354,300	28,800	4,124,400
手数料収入	67,000	57,823	9,177	64,000
寄付金収入	6,700	6,113	587	5,000
補助金収入	364,300	370,270	△ 5,970	342,100
資産運用収入	179,200	202,514	△ 23,314	210,700
資産売却収入	1,210,000	2,226,976	△ 1,016,976	3,324,700
事業収入	100	787	△ 687	500
雑収入	70,600	70,006	594	236,200
前受金収入	723,600	672,031	51,569	717,400
その他の収入	2,342,933	4,112,752	△ 1,769,819	1,012,869
資金収入調整勘定	△ 786,642	△ 797,411	10,769	△ 882,331
前年度繰越支払資金	2,002,378	2,002,378	0	1,962,965
収入の部合計	10,563,269	13,278,539	△ 2,715,270	11,118,503
人件費支出	2,742,900	2,703,296	39,604	2,965,500
教育研究経費支出	1,070,400	1,034,315	36,085	1,042,300
管理経費支出	315,600	309,188	6,412	327,300
借入金等返済支出	12,000	11,850	150	9,900
施設関係支出	6,500	23,675	△ 17,175	8,000
設備関係支出	102,700	149,387	△ 46,687	128,100
資産運用支出	4,455,000	7,024,186	△ 2,569,186	4,612,000
その他の支出	137,071	139,119	△ 2,048	124,172
予備費	25,000	0	25,000	15,200
資金支出調整勘定	△ 82,670	△ 79,442	△ 3,228	△ 73,629
次年度繰越支払資金	1,778,768	1,962,965	△ 184,197	1,959,660
支出の部合計	10,563,269	13,278,539	△ 2,715,270	11,118,503

貸借対照表

(単位: 千円)			
	本年度末 2008年3月31日	前年度末 2007年3月31日	増減
固定資産	20,296,845	20,344,039	△ 47,194
有形固定資産	12,830,059	13,144,177	△ 314,118
その他の固定資産	7,466,786	7,199,862	266,924
流動資産	8,820,833	8,350,706	470,127
資産の部合計	29,117,678	28,694,745	422,933
固定負債	1,305,198	1,292,174	13,024
流動負債	837,810	963,928	△ 126,118
小計	2,143,008	2,256,102	△ 113,094
基本金及び消費収支差額の部			
基本金	25,464,834	25,036,369	428,465
消費収支差額	1,509,836	1,402,274	107,562
小計	26,974,670	26,438,643	536,027
負債の部・基本金及び消費収支差額の部合計	29,117,678	28,694,745	422,933

大学院入試のご案内

- 一期入試日程
2008年10/4(土)・5(日)
- 出願期間
2008年9/5(金)~9/19(金)

法学研究科

高度な専門職業人を育成
税理士資格取得後の見識を学ぶ

あらゆる分野でグローバル化が進む現代。各国の憲法や法律の違いを学ぶことで世界の異文化を真に理解するとともに、国際社会に貢献しうる幅広い知識と技能、人間の平等や尊厳についての高い見識を養います。

臨床心理学研究科

臨床心理士資格取得を目指し
実習で資質と能力を磨く

現代社会を取り巻く「心の問題」と向き合い、解決へと導く「臨床心理士」の育成を目指します。本研究科は北海道トップレベルの専任講師陣を誇り、また施設を使った実習など実践的な教育環境にも優れています。

地域社会マネジメント研究科

「地域力」を形成する地域社会マネジメント、現場で活躍するプロが指導

「地方の時代」を迎え、地域社会形成を担う人材のニーズが高まっています。本研究科では、北海道という地域の本質と可能性を見極め、創造的なプロジェクトを指向するスペシャリストを育成します。

沖縄国際大学

新里真奈美さん



ときどき「沖縄そば」が無性に恋しくなります。

単位互換協定の沖縄国際大学(産業情報学部産業情報学科)から特別科目等履修生として来学した新里真奈美さん。四月から商学部商学科の確井ゼミナールに所属、「この一年間はいろいろなこと挑戦してみたい」とほりきっています。

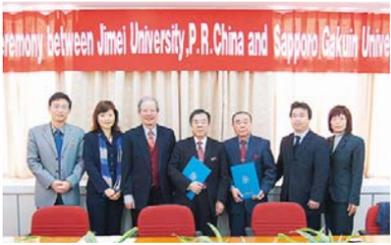
異文化に触れる、視野が広がる

札幌学院大学には、さまざまな形で異文化に触れる機会が用意されています。今回は、単位互換協定大学のひとつ沖縄国際大学からの留学生、新里真奈美さんをご紹介します。

現在では勉学の傍ら、一人でも多く友達をつくらうと「癒し系サークル夢香房」に参加して、学部以外にも交友の場を広げつつあります。休日には自転車で江別市内を探索しているそうですが、沖縄では自転車に乗る人が

集美大学と交流協定を締結

春節明けの二月末に、札幌学院大学と集美大学との学術・教育交流協定締結のため見玉・地域マネジメン



Agreement between Jimei University P.R.China and Sapporo Gakuin Univ.

一行が厦門(アモイ)を訪ね、地元テレビ・クルーが撮影するなか、見玉学長代理と学長とが華やかな調印式に臨みました。現地視察では先方の通訳・李雪英さんと国際交流事務局の経営学・会計学などの研究

英語英米文学科

Intercultural Communication 異文化コミュニケーション

第二言語として英語を学ぶ自分たちと同じように「英語を母国語としない」アジア圏の学生との交流を通じて、異文化への理解を深め、コミュニケーション能力を高めることを目標としています。

Seminar @SGU vol.1



日本文化の紹介はどれも大好評でした。



子どもたちの笑顔がいてほしい。



最終日は別れが辛くて、涙・涙...



Hinkelman先生からゼミ生へ

I hope this is the biggest challenge in four years at SGU—a tough and great experience.

人口の十%近くを学生が占める北海道江別市。「一日を気持ちよくスタートする近道は朝食にあり」と、市内四大学・三短大は「春の食生活改善運動」を



ごはん、味噌汁、主菜、牛乳



ここから副菜どれでも二品

100で朝食! 食生活改善の第一歩

する原口優さん(人文学部英語英米学専科一年)。友達の佐藤祐也さん(同)は「ホッケーの練習の前にはしっかり食べているんです。朝食はちゃんど」。また、工藤さん(同)は、「今回の企画は、食へたいものを選べるところがいい」と大層うって朝食です。

三月一日、五十名近い地域の方々の参加のもと、「大人のオープンキャンパス」が本学で開催されました。企画した学生たちは「地域と協働のまちづくりを行いたい、地域の人々も自由に集える場に大学を育てたい」と思いから、この行事を開催しました。

大人のオープンキャンパス ~地域の暖かさを感じた一日~

昼食会は、学生が考案した創作郷土料理「江別鍋」が登場。野菜に肉、江別の特産小麦ハルユタカで作ったほうとうをみそと牛乳で味付け。三好昇江別市長からは「江別の食材で共通の話題ができる。地域貢献のひとつになりますね」と講評をいただきました。



手ごたえをつかんだ! (左から松井さん、工藤さん、笹岡監督、菅野さん、猪川さん、村井さん)

海外通信 パナアツ共和国見聞記 第4報 一時帰国とエリザベートの日本留学



エリザベートとご両親。右端が川口客員教授

二つめは、「見聞記(第三報)」で報告したように、日本へ留学することになったエリザベート、そしてご両親をお

札幌学院大学 客員教授 川口 孝太郎

一月十四日、二月十四日の一月、日本へ一時帰国することになりました。JICAの「一時帰国」の制度は、日本で健康診断を受け、あわせて心身の回復を図ることを目的としていま

二つめは、「見聞記(第三報)」で報告したように、日本へ留学することになったエリザベート、そしてご両親をお

世話する浅利氏に無事送り届けることでした。さて、健康診断の結果は、後一年間シニア・ボランティアとして活動できるというお墨付きをJICAから頂き、今回の一時帰国の目的「日本留学」についてお話を果たすことができました。

最後にエリザベートの「日本留学」についてお話を果たすことができました。さて、ポートビラに「デイトン」の講義について

「見聞記(第三報)」で報告したように、日本へ留学することになったエリザベート、そしてご両親をお

楽しいよりも心配なことが多いのでしょう。「遠く南国から、雪深い北国まで連れて来てしまったなあ!」と私も一瞬不安がよぎりました。しかし、私の耳に入るのはエリザベートの誕生

「第十一回ソウル国際市民マラソン」(三月二日)に出場した女子陸上部の五人のうち、三人がハーフマラソンで十位以内に入るなど、好記録を収めました。笹岡監督も五キロで完走、公式競技大会への出場七回を達成しました。

二つめは、「見聞記(第三報)」で報告したように、日本へ留学することになったエリザベート、そしてご両親をお

二つめは、「見聞記(第三報)」で報告したように、日本へ留学することになったエリザベート、そしてご両親をお

二つめは、「見聞記(第三報)」で報告したように、日本へ留学することになったエリザベート、そしてご両親をお

二つめは、「見聞記(第三報)」で報告したように、日本へ留学することになったエリザベート、そしてご両親をお

二つめは、「見聞記(第三報)」で報告したように、日本へ留学することになったエリザベート、そしてご両親をお

あなたの大切なものは何ですか？

わたしの大切なもの

—本当に大事なものは目に見えないって言うけれど。

札幌学院大学学園広報は1971年に第1号が発行されてから37年、今回で第100号の発行を迎えました。
 札幌学院大学の動きを伝え続けてきた、大学にとって「大切なもの」のひとつです。
 そこでこの機会に学生の皆さんにも問いかけました。「あなたの大切なものは何ですか」。
 たくさんの方が声を寄せてくれました。それぞれのメッセージからは大切なものを愛しむ気持ちが伝わってきます。
 ご協力いただいた皆さん、あらためてありがとうございます。

わたしの大切なものは、故郷です。私は今、札幌で一人暮らしをしていて、とても故郷が恋しくなることがあります。(谷 貴宏・商学1年)

人と人との出会いや縁と今も楽しく生きる気持ち(北川 泰史郎・こども発達3年)

私の大切なものは飼猫「トラ」。いつもひっかいてくるけど、心の支え♡♡(村元 美乃里・臨床心理1年)

今まで関わってきた友達を大切にしていきたいです。(吉田 優香・こども発達1年)



2月にゼミ旅行でニューヨークに行きました(´▽`)月初めての海外の思い出もずっと大切にしたいです☆(伊藤 穂波・英語英米4年)

私が大切にしたいものは、友人です。私と同じ学科の人は小学校教師になることが目標なので、共に頑張りたいです。(山岸 俊樹・こども発達3年)

地球。今の地球を守りたい。(掛村 浩介・こども発達1年)

自分が今大切にしたいと思っているのは愛犬のコーギーです。実家に愛犬がいますが、実家に帰ったら戯れたいです。(網野 進・商学1年)

今までの大切なものは、友人です。私と同じ学科の人は小学校教師になることが目標なので、共に頑張りたいです。(山岸 俊樹・こども発達3年)



大好きな彼女と新しく買ったバイク。どちらもこれから一生大切にしていきたいです。(西村 優・人間科学3年)

私がこれから大切にしていきたいと思っているモノは「かけがえのない自然」です。(渋谷 大介・こども発達1年)

私は縁あってこの大学に入ることができた。私の父は札幌商科大学卒であり文泉会の会員でもある。この縁を大切に、大学生活を歩んでいきたい。(丸小 拓将・社会情報1年)

時間です。なぜなら、一般的な物とはちがいで、保存できないものだからです。また、今が大事な時だからです。(角谷 秀樹・こども発達1年)

家族。友人。周りの人をみんな大事にしたい。(北川 雄太・こども発達3年)

思いやり、人のキモチ、人のぬくもり、人の愛情。(鈴木 晶・商学2年)

これからの未来に生かされる全てのこどもたちの笑顔と実声。それらと向き合う環境全ての大人の常識。(坂本 奈津子・こども発達1年)

自分も含め、自分のまわりの人や環境がとてつ大切です。その中にある幸せがとてつ大切!!(山内 彩歌・臨床心理2年)

家族。友人。周りの人をみんな大事にしたい。(北川 雄太・こども発達3年)

自分に関わってくれている人は偶然出会った人じゃないから、これからは大切にしていきたいです。(近井 公子・こども発達1年)

家族。何においても大切なもの。(白幡 桂宏・商学1年)

私は自分の声を大切にしたいと思っています。なぜなら、さまざまな声色を出せるからです。(永松 久嗣・こども発達1年)

私は今までの思い出を大切にしたい。地元の仲間や彼女、家族と過ごした日々はこれからも私の宝物。(田近 真矢・こども発達1年)

私に関わってくれている全ての人々に感謝し、大切にしていきたいと思っています。(小建 佑佳・こども発達1年)

わたしが一番大切なものは友達です。なぜなら、友達というのは、自分が困るときに助けてくれるからです。(板崎 翔太郎・商学1年)

私が大切にしたいと思っているものは友達です。友達は人生にかかせないものだからです。要するに…宝物です。(中村 隼人・商学1年)

自分を大切にしたい。自分を大切にしなければ、世間を大切にすることはできないので、自分を大切にしたい。(岡田 勇人・こども発達1年)

家族との絆を大切にしたい。兵庫と北海道は離れとるけど、いつも大事に思ってるから、感謝していきたい。(永峰 祥・こども発達1年)

僕の大切なものは時間です。今しかできないこと、今ならできることを見つけ、自分の時間を有効に使いたい。(佐藤 聖・経済3年)

大切なのはマイフレンドです。友達は、生涯かかわるので本当に大切にしたいと思いました。(若作 圭祐・商学1年)

私は過去は、決して変えられないので、これから、人生を自分で決めていくことに全力で関わっていきたくて、頑張りたい。(大山 雄平・こども発達1年)

私の大切なものは、野球で使うグローブとバットです。グローブとバットは友のようなものだと思います。(野原 慎太郎・商学1年)

私は人を大切にしたい。人と人は支え合って生きていくべきであり、そうするために愛を持ち大切にしたい。(藤田 圭吾・こども発達1年)

自分の意思です。何もするにもそれが無ければ物事を続けることはできないからです。そしてやることも。(福田 雄太・商学1年)

人とのつながり。(柳瀬 裕基・こども発達1年)

私は髪の毛を大切にしたいと思っています。将来いつ髪の毛がなくなるかわからないので、今のうちに大切にしたい。(若山 嵩洋・こども発達3年)

家族と友人。この人達がいなければ今の私は存在しなかったと思う。私にとって命の恩人であり、私の命より大切な存在。(松本 みゆみ・臨床心理1年)

好きなお姉ちゃんを大切にしたい。お姉ちゃんが無ければ私と幸せなら私と幸せ♡(松井 佳奈江・臨床心理2年)

自分の中で一番大切な物は、友達です。友達というのは、助け合って友情を作っていく大切さを教えてくれる人。(滝井 亮祐・商学1年)

地球です。今、様々な自然の問題があるので、自分の家のようにキレイに大切にしていきたいと思えます。(楠谷 義則・こども発達3年)

一度きりしかない人生。(坂東 和樹・商学1年)

今、私が一番大切にしたいと思っている事は、仲間です。クラスの友達、部活の友達など一人一人大切にしたい。(梅岡 亨・商学1年)

自分のことを大切に思ってくれている友だち・家族。(桑原 友恵恵・こども発達1年)

私の大切にしたいものは、友人や仲間、先生との人間関係です。去年、いろいろな人に迷惑をかけたので人間関係を大切にしたいです。(菅原 圭介・人間科学4年)

私が大切にしたいと思っているのは、家族です。離れて暮らすようになり、改めて家族に感謝しているからです。(赤坂 一馬・商学2年)

自分が大切にしたいものは今までの思い出です。これからの思い出も大切にしたい。(森達也・こども発達1年)

私が大事な貴方が大事。私が大事な私が大事。そんな心を持つのが大事。そんな心を忘れないのが一番大事。(松岡 和希・こども発達1年)



僕の大切なものはソアラ。なぜなら運転すると楽しくなり、どんな嫌な事も忘れられるからです。(遠嶋 一星・法学4年)

睡眠時間です。徹夜などで睡眠時間が削られ、心身共にボロボロです。学生生活が一番大切なので大切にしたいです。(荒木 洋輔・こども発達3年)

私は友達を大切にしたいと思っています。なぜなら友達とは一生つきあっていくものだからです。(山内 瑞葵・こども発達3年)

今、文字を書いているシャープペンシル。大切なプレゼントです。(木内 諒・商学2年)

友達との関わり、子どもたちとの触れ合い。飲み会。(深谷 和貴・こども発達3年)



私の大切なものは家族との時間。GWにキャンプへ行き、家族と過ごす時間は特別なものだと感じたから。(塩田 瞳美・臨床心理1年)

いろんな人との繋がりになってるバスケットボールというスポーツ。(高橋 恵太・商学1年)

「人生において無駄なものはない」私が生きてきた中で経験してきたこと全てが大切です。(大原 麻美・こども発達3年)

私が大切なのは食べることです。今日お先輩からお菓子をもらって幸せです♡♡(笑)(吉田 友里恵・臨床心理1年)

私が大切にしたいと思っているものは「お金」です。無いと不安になるので、これからは大切にしたいと思います。(南 達也・こども発達3年)

座椅子に深く身を沈め、一切の思考、音を遮断して夜の静けさを大切に思い、伸びやかに深呼吸をすることです。(齋藤 千代子・人間科学4年)

友達です。60億人の中からの出会いは奇跡だから。(上田 直道・こども発達1年)

私が大切にしたいと思っているのは「家族」です。一人暮らしをして、より一層感謝の気持ちでいっぱいです。(高瀬 愛里・こども発達3年)

大切なのは友達と家族。(野澤 直矢・商学1年)